

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	アフレコⅠ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	105時間
単位数	3単位					授業形態	実習
教科書/教材	映像素材、作品ごとの台本をその都度配布						
担当教員情報							
担当教員	茶風林、富永みーな、折笠愛			実務経験の有無・職種	有、声優		
学習目的							
プロの俳優、声優に必要な身体的能力、感受性、表現力を身につける。又、コミュニケーション方法、自信をより良く見せてゆくプレゼンテーション能力も身につける。							
到達目標							
プロ、アマを問わず、表現することは楽しい、自身のコンプレックスも個性の一つだということに気づき、物作りの製作者側の目線を知り、人にもものを伝えること喜びに気付くことが最低限の目標！							
教育方法等							
授業概要	アフレコ教材を使って実際にマイクを使用し、録音アフレコ現場を再現しながら体験実習してゆく。基本の滑舌や、ナレーション基礎を実習し、声優としての基礎を身に着ける。						
注意点	アフレコ実習ではあるが、演技の表現力基礎を高める為、ういろう売りや、インプロ、エチュードを同時進行して行い、形だけの演技にならないようにする合わせ演出的思考を出来るようにする。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	実習	50%	アフレコの演技力、表現力を見る				
	筆記	20%	想像力を確かめる				
	エチュード	10%	演技力、表現力、総合				
	滑舌	10%	きちんとしゃべれるかどうか、わかりやすさ				
	平常点	10%	コミュニケーション力、積極性など				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	テロリストゲーム、目立つということ			何を持って他者へアピールしてゆくかを知る			
2回	ナレーション基礎			自分の現在のαスキルを知る			
3回	ういろう売り、エチュード			滑舌の基礎を身につけ、自分のカラを破る			
4回	アフレコ実習			スタジオワークに慣れる			
5回	ビブリオバトル 他			本とふれ合い、自分の表現力を高める			
6回	アフレコ実習			マイクワークに慣れる			
7回	エチュード			他者になるという事			
8回	アフレコ実習			口パクを合わせよう			
9回	ういろう売り変形			滑舌を身に付ける、想像力をつける			
10回	アフレコ実習			マイク前の演技に慣れる			
11回	ナレーション基礎			言葉にはイメージがあることを知る			
12回	アフレコ実習			自分の体は楽器であることを知る			
13回	ビブリオバトル			想っていることを人に伝える為には			
14回	アフレコ実習			マイクとは何か			
15回	エチュード			人ではなく物にもなれという事			